



ふるさとの歴史・再発見

…あきたふるさと学講座・東成瀬キャンパス…

G4【移動学習】幻の古道・仙北道 ～歴史・自然の魅力を再発見～



東成瀬キャンパスでは6月30日(土)、午前は藤原優太郎氏によるG3講座「千古の歴史を刻む仙北道(みち)」が、午後からは仙北道を考える会・幹事の谷藤広子氏によるG4講座「幻の古道・仙北道 ～歴史・自然の魅力を再発見～」が移動学習として、それぞれ開かれました。

バスに乗ってフィールドに出る移動学習では、講師の解説を聞きながら東成瀬村の各所を回り、東成瀬村が古くから栄えてきた歴史ある地域だということが分かりました。

行程の中で、仙北道の一部を歩いてみましたが、実際に使われていた当時の道標が残っているなど、歴史の重みが肌で感じられる場所でした。

受講者の皆さんからは次のような感想が寄せられました。「実際に仙北道を見ることができてとても興奮した。」「仙北道に限らない道中の説明が、楽しくて分かりやすかった。」「一度踏破してみたいものです。」



講師 谷藤広子氏

7月14日(土)のG5・6講座は元県立図書館館長の半田和彦氏、明治維新を考える会主宰の吉田昭治氏を講師に迎えて開かれ、東成瀬キャンパス全6回の講座が終了しました。

道の文化史

…あきたふるさと学講座・生涯学習センター会場…

C2 羽州街道を歩いた人々 ～旅の記録と地域づくり～

7月7日(土)にはC2講座が開かれました。講師を務めたのは、NPO法人あきた地域資源ネットワーク専務理事で羽州街道交流会代表幹事の鑑啓記氏です。吉田松陰、伊能忠敬、イザベラ・バードなど、江戸～明治時代にかけて東北の地を旅した人物とその記録を題材に講義が進められました。

特に明治期に日本を旅した英国人女性のイザベラ・バードについては多くの時間を割いて、興味深いお話が繰り広げられました。また、バードを“観光資源”として活用して地域づくりに生かした他県の実例も紹介され、受講者からは、「バードという人物を初めて知り、興味がわきました。」「他県での地域づくりへの活用例が参考になりました。」といった感想も寄せられました。



講師 鑑啓記氏



羽州街道沿いの歴史探訪 ～大館編～

…あきたふるさと学講座・大館キャンパス…

E6【移動学習】大館の遺跡巡り



講師 藤原優太郎 氏

大館キャンパスでは、「E5講座：羽州街道と峠道 ～羽州街道につながる脇街道～」と、「E6講座：大館の遺跡巡り（移動学習）」が7月14日（土）に行われました。講師は1日を通して、あきた山の學校・代表の藤原優太郎氏が務めました。

午前中は大館市立中央公民館を会場にE5講座が開かれ、古くから交通の要所として発達してきた大館を通る羽州街道と、それにつながる脇街道と峠道を題材に講義が



進められ、藩政期の羽州街道の様子や羽州街道から分かれる脇街道（阿仁街道～大覚野街道、鹿角街道、濁川街道、来満街道）について語られました。

受講者からは、「脇街道について、知ることができてよかったです。この地域のことを楽しく拝聴しました。」「今後も羽州街道や歴史について勉強し、自分も他の人々に伝えていきたいです。」「脇街道などふだん聞くことのできない道の話があつて興味がわいてきました。さらに、本などを読んで学びたいです。」などの感想があり、とても好評でした。

午後のE6講座は移動学習でした。午前中の講義に引き続いてのお話を聞きながら、矢立峠、白沢宿、御前水、鳥潟会館をまわりました。心配されていた雨もすっかり上がり、講義で語られた場所を実際に歩くことができました。

大館キャンパスは、全6回、たくさんの受講者をお迎えして無事終了することができました。



秋田にいきづく神秘の湖水

…あきたふるさと学講座・潟上キャンパス…

7月21日には潟上キャンパスでI3・4講座が開かれました。

午前のI3講座では、秋田県立大教授の高橋秀晴氏が講師を務めました。「三湖に魅せられた文人たち ～文人が描いた三湖の情景～」と題して秋田出身の作家、千葉治平と矢田津世子の作品を題材にして講義が進められ、ユニークな作品分析に受講者は大いに興味をそそられていました。

同日午後は菅江真澄研究会会長の田口昌樹氏が講師を務め、「I4講座：菅江真澄が見た三湖 ～神秘の湖水を訪ねて～」と題しての講義でした。菅江真澄自筆の天然色の挿絵をスライド投影しながらの解説に、受講者は当時の八郎湖周辺の様子をイメージ豊かに思い描きながら熱心に聞き入っていました。



講師 高橋秀晴 氏



講師 田口昌樹 氏

